

# 「赤旗」創刊 96周年

2024.2.1  
に寄せて



「しんぶん赤旗」日刊紙と日曜版が一般の報道機関とは違う鋭い視点でスクープを出し、社会の厳しい監視役を果たしていることをとも評価していただきます。

日曜版がスクープした自民党5派閥の政治資金パーティー収入を巡る裏金事件は、東京地検特捜部が動いて注目を集めました。ほかにも「赤旗」には、一般の報道機関が後追いしなかつ

神戸学院大学教授(憲法学)

上脇 博之さん

スクープの他にも国民の運動を伝える記事が大切です。いかに主権者が頑張っているか、伝えている新聞は多くないからです。

日本共産党の機関紙ですが新聞の内容は一般の報道機関としての視点もあります。党員でなくても「赤旗」を読み、その報道を通じて国や社会を知ってほしい。「赤旗」を購読することで現実を知り政治や行政の評価を変えていくことが重要です。

この紙面は「しんぶん赤旗」の切り抜き記事です。

## いま「赤旗」が旬



民主主義の根本には、しっかりした報道機関の存在が重要です。しかしここ10年、20年の間に、日本の大手テレビや新聞は政府の代弁機関と化し、自ら考え、自ら調査するという姿勢を失い、非常にゆがんだ報道機関になっていきます。客観的事実の報道という本質から外れ、権力者の考えの発信を重視するようになっていきます。

その中で、真実は何かというジャーナリズムを追求するメディアは、一定の部数を持ち影響力を持つメディアと

元外務省国際情報局長

孫崎 享さん

「しんぶん赤旗」は、党の機関紙としての政策発信とともに、それ以上の国民的役割が期待されています。日本という国のありようのために、ジャーナリズムの一番大事な部分を追求してもらいたい。

そうした期待がかかるのは「赤旗」が、政治とカネの問題に加え、日本の政治のゆがみの根本にあるアメリカ追随政治の告発や国民の命と暮らしを重んじる政治への転換などの問題を現に発信し続けているからです。

多くのメディアが財政的基盤において権力や企業に揺さぶられる体質を持ち、権力によるメディア支配の強化も進んできました。これに対して共産党と「赤旗」は、権力や企業に依存しない独自の財政的基盤をもち揺るがぬ独立を保っています。

そして綱領という明確な政策的基軸を持っていることが根本にあると思います。

# 自民パー券問題

安倍派

派閥側

松本淳一郎  
会計責任者

**在宅起訴**  
収入6億7503万円  
支出6億7654万円

議員側

大野泰正  
参院議員

岩田仁子・秘書  
**在宅起訴**  
収入5154万円

谷川弥一  
衆院議員

三宅浩子・秘書  
**略式起訴**  
収入4355万円

畑田隆  
衆院議員

楠沼和宏・秘書  
**逮捕→起訴**  
収入4826万円

二階派

派閥側

永井等  
元会計責任者

**在宅起訴**  
収入2億6460万円  
支出1億1622万円

議員側

梅沢修一  
二階氏の秘書

**略式起訴**  
収入3526万円

岸田派

派閥側

佐々木和男  
元会計責任者

**略式起訴**  
収入3059万円

## 3派閥8人起訴

### 二階氏や幹部議員は見送り

日曜版のスクープ(22年11月6日号)が契機となった自民党派閥の政治資金パーティー裏金事件。東京地検特捜部は安倍派、二階派、岸田派の3派閥の会計責任者ら計8人を政治資金規正法違反(虚偽記入)罪で在宅・略式起訴(19日)しました。(別表)

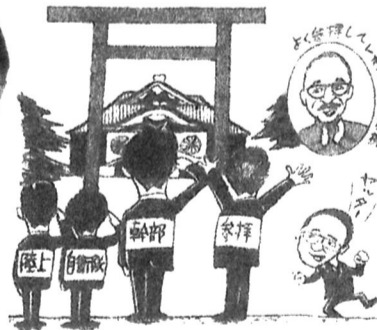
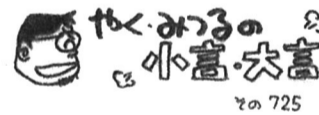
安倍派と二階派は、所属議員がパーティー券の販売ノルマを超えて売った分を議員側マにキックバック(還流)したり、議員側が派閥に納めず「持ち逃げ」した分を収支報告書に記載していなかったと明らかにしました。

岸田派の秋生田光・前政調会長は22日に記者会見し、22年までの5年間で、派閥のパーティー券販売のノルマ超過分としてキックバックされた計2728万円を収支報告書に記載していなかったと明らかにしました。

告発に記載せず裏金化。岸田派もパーティー収入の一部を記載していませんでした。

一方、安倍派の事務総長の幹部議員7人や二階俊博・元自民党幹事長本人の立件は見送られました。事件を受けて岸田派、安倍派、二階派は派閥の解散を決めています。

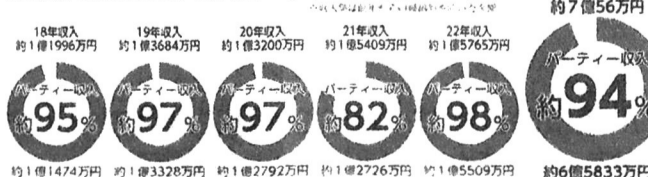
自民党議員は次々に派閥から受け取った裏金額を公表しています。



## 岸田首相パーティ

### ゼネコンが大口購入

岸田首相の資金管理団体の収入とパーティー収入の割合(2018-22年)



おもしろい  
共産党

ふれたぬこ  
安倍派幹部不起訴  
ヤルヤル詐欺でした  
東京地検特捜部  
和泉・喫茶老